

当面の日程

- 23日 人権啓発研究第43回兵庫県集會（のじぎく会館）
26日 連合兵庫第32回地方委員会（メリケンパークオリエンタルホテル）
1日 県本部労働学校実践編（ひょうご共済会館）
2日 近畿地連定期総会（リーガロイヤル京都）
4日 青年女性秋季闘争勝利決起集會（長田区文化センター）
4日 2022確定闘争勝利！県本部決起集會（長田区文化センター別館ビブレホール）

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1617号

2022. 10. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

県本部第73回定期大会

満場一致で運動方針を可決

当面する諸課題の前進をめざす

県本部は10月1日に舞子ビラ神戸で、来賓制限などの新型コロナウイルス感染対策を講じ、第73回定期大会を開催した。大会へは156人の代議員が出席。明石アスベスト裁判闘争最高裁上告の経過や定年引き上げの交渉状況、政治闘争の強化、未加入者対策や組織強化に向けて15人の代議員が討論に参加。来年4月の統一自治体選挙をはじめ各種選挙闘争では、推薦予定候補の勝利をめざすことなど、2023運動方針をはじめ議案は全て満場一致で可決した。

大会議長に兵庫県職労の土取節夫代議員と丹波篠山市職労の富田真也代議員を選出し議事を進めた。山下忠之県本部委員長が主催者を代表しあいさつを行ったのち、自治労本部の青木真理子副委員長をはじめ7人の来賓より祝辞が述べられた。

経過報告に関しては、参議院選挙における単組での取り組み状況、明石アスベスト裁判闘争の経過、定年引き上げにおける条例制定での取り組みと課題など、3人が発言。

また方針では、会計年度任用職員の更なる処遇改善、介護職員の組織化、当面する地方選挙など政治闘争の強化、組織強化と未加入者対策の課題など、12人が発言した。（各代議員からの発言内容については2面に掲載）

は「統一闘争に結集し、情報交換しながら取り組む大切さ。組合の力だけで前に進まない時に政治の力の必要性。組織強化拡大には、現場の声を拾い、隣の仲間を大切にしながら組合に結集する呼びかけをみんなが意思統一して、一歩前に出て取り組むことが語られた。出された発言を全体で学び、1年間を取り組もう。そして当面する統一闘争の課題前進に向け、県本部に結集する全単組は一致団結してがんばろう」と総括し、大会を終了した。



全ての議案は代議員全員の賛成で可決された

山下委員長あいさつ要旨

労働条件は運動の到達点 次世代につなぐ取り組みを



7月の参議院選挙では、鬼木まことさんが当選を果たした。政治闘争の前進は日頃の組合活動での信頼の上にありたいことを意識し、来年の統一自治体選挙で、仲間となる議員を増やそう。2点目は直面する現業公

企闘争と確定闘争。現業公企闘争では、持続する市民サービス確立へ人員確保と直営堅持をめざし、確定闘争では物価高騰への暮らしを守る視点から、全体の賃金改善や一時金一律0.1月引き上げなど取り組みを強化しよう。

3点目は単組の強化拡大。運動の根幹であり、未来がかかる重要な課題。組合間で労働条件の差が広がっている。労働条件は単

組運動の到達点であり、運動を支えるのは組織力量。「組織は人なり」「数は力」だ。組合員が集まり、ともに活動を積み重ねて絆を深めることから始めるしかない。県本部も、単組役員が一歩前に踏み出せる体制構築を進め、単組の関係をより近いものにしていく。

働く人を守るという当たり前の運動と支える組織のバトンをつなぐ取り組みを全単組で進めよう。県本部執行部の決意を申し上げて、執行部を代表してのあいさつとする。



今回の大会では、青木真理子自治労本部副委員長(写真①)、鬼木まこと参議院議員(写真②)、岸まきこ参議院議員(写真③)、福永明連合兵庫会長(写真④)、小橋浩一兵庫県総務部長(写真⑤)、今西正男神戸市副市長(写真⑥)、政党を代表して立憲民主党の井坂信彦兵庫県連代表(写真⑦)より祝辞が述べられた。

来賓7人より祝辞

しこう

ガジェット(便利な小道具・電子機器)好きで、いろいろ使ってきたが、手帳は紙派だ。スマホアプリも試してみ

いまいち座

登り続けるしかない...



大 植 賢(豊岡市職労)

活動の実践を持ち寄る

取り組みの共有で更なる組織強化へ

報告、方針に対し15人が発言

政治闘争で組織強化

豊岡市職労 藤原代議員

公務労働者の賃金は法律・条例で決まる。そのため政治活動は極めて重要。参議院選挙の個人演説会への呼びかけを、各執行委員が1人声掛けを決めて取り組んだ。不安だったが、多くの仲間の参加という成果に



100人の1歩を実感し自信につながった。

闘争への協力に感謝

明石市職労 大岡代議員

アスベスト公務災害認定闘争は4年近くの闘争となった。大阪高裁で不当判決。判例が今後に大きな影

定年引き上げの課題

尼崎市職労 玉城代議員

が、9月に最高裁は棄却の判断。引き続き、遺族をサポートする。これまで支援をもらった県本部・各単組へ感謝する。



響を与えることを考慮して最高裁へ上告した

運用面の課題解消に向け

県職労 小林代議員

定年引き上げは、現場の関心が高い。早期に協議し、9月議会でも条例化。組合員から60歳以降の働き方について多くの不安が出され、行革で定数3割削減された職場の厳しさが、浮き彫りになった。運用面の課題解消に向け、取り組んでいく。

情報発信の強化を

宝塚市職労 江田代議員



組合員が県本部活動を実感できるように情報発信を増やしてもらいたい。

交渉力強化の成果

加西市職労 古角代議員



コロナによる保育幼稚園等に対する処遇改善交付金で交渉。多くの職種で2号・4号引き上げを勝ち

国政へ現場の声を届ける

国保労組 麻生代議員

診療報酬の支払い機関が国保連合会と社会保険。こ

統一自治体選、地域や働くものが大切にされる

神河町職 横代議員



体選、地域や働くものが大切にされる

取った。基本組織の協力と組織統合による交渉力強化の結果。一時金闘争では勤勉手当引き上げ相当分の支給を追求し交渉を強化する。

正統とともに取り組み

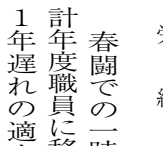
佐用町 木南代議員



人勤で一時金が増額となったが、会計年度職員には勤勉手当がないため、私達の希望を阻んでいる。確定闘争では正規職員の皆さんの力を貸していただきたい。このことで当局の対応が変わることもある。少しでも希望が持てる結果を勝ち取りたい。

交渉難航も上乗せを確認

尼崎競艇組 明富士代議員



春闘での一時金交渉。会計年度職員に移行したため、1年遅れの適応のため、当局は0.15月引き下げ回答。しかし売上はバブル期に近く、引き下げは納得できるものではない。最終、夏冬とも一時金上乗せを勝ち取った。県本部、ブロックの交渉支援に感謝する。

組織拡大を実現

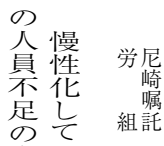
社保労連 松本代議員



未加入者を対象に集会を開催。組合員も参加し加入の必要性を訴えて12人加入。繋がり支え合える企画を進める。声を拾い、仲間を大切に頑張りたい。ハラスメント委員を務める

慢性的な人員不足の解決を

尼崎嘱託 伊藤代議員



慢性化している学童保育の人員不足の中、コロナ禍の影響で夏休消化が困難。取得期間延長を要望したが、改善とはならなかったが、

予定候補の当選めざす

加西市職 神戸代議員



来年5月の加西市議選に組織内の深田照明さんが立候補予定。各単組の支援・協力をお願いする。西村和平市長は、まだ立候補表明をしていないが、これまでと同じく支援を。

福祉施設は課題が山積

兵庫公共ユニオン 谷代議員



福祉施設は過去にない窮地に立たされている。感染対応の設備もスキルも少ない中、患者の介助をすることへの不安や人員不足も深刻。コロナによる欠員は死活問題。処遇改善の財源確保、介護報酬見直しなど課題は山積しており、現場の声を国政に届けるため、議員を増やすことが重要。

松本さんを市議会へ

加東市職 依藤代議員



10月23日 投票の加東市議選に松本みわこさんが立候補予定。すでに各単組から推薦決定もいただいているが、各単組の協力のもと、圧倒的勝利をめざす。

新たな役員を選出

大会では欠員となっていた副委員長に、丹波市職労の梅垣耕平さんを、神戸ブロック選出の吉岡正輝執行委員が退任し、現業評議会選出の北池宏光執行委員が後任となり、新たに現評選出の執行委員として神戸市役員の松本賀仁さんを選出。役員任期は前任者の残任期間である来年の県本部大会まで。

また4月に管理職となった丹波篠山市職労出身の大上敬之前副委員長と6月の中央委員会退任した県職労選出の井上敬太執行委員、今回退任した吉岡正輝執行委員に感謝状が贈呈された。

発言に関しての執行部答弁

定年延長に係る役職定年について、組合員の範囲を確保し改善につなげるよう進める。課長級以上は、組合員の範囲である4級で運用をめざすことが必要。また、現業職場においては定



尾西書記長



戎副委員長

数が問題となるため欠員となる部分をどうするのか、労使での交渉が必要。県本部予算の支出と情報提供について、Zoom会議利用等でさらに支出を抑える。情報発信は、ウェブページを一新し、単組・組合員と繋がるよう整備していきたい。

組合員と非組合員の差をどうつけるのか。組合が獲得したものをアピールし、

加入していないことが恥ずかしいとの思いにさせてかなければならない。会計年度の取り組みについて、基本組織と一緒に交渉に臨み、取り組みをさらに前進させてもらいたい。勤勉手当の取り扱い、年収ベースを確保する取り組みを進めてもらいたい。国保労組の課題は、組織内議員を活用した取り組みを進める。

組合員減少に対する前向きな取り組み報告。この取

り組みを



梅垣副委員長



松本執行委員